

今後のスポーツ施設のあり方（案）

○ 現状の特性と課題の抽出

【施設機能面（老朽化、安全性、種目対応、規模など）】

- ・ 既存するスポーツ施設の大半は整備後 30 年を経過しており、適宜部分改修や補修を進めてきたが、施設構造体としての老朽化が顕著に散見される。また、施設老朽化に伴い快適な施設利用を阻害する要因ともなっている。
- ・ 屋外スポーツ施設は 8 種、屋内スポーツ施設は 10 種（格技場含む）の活動が可能となっており、近隣市町村と比較しても遜色のないものとなっている。
- ・ 屋内スポーツ施設は、定期的に卓球の大会が開催されており、地区大会程度の開催は可能な規模を有している。一方、屋外スポーツ施設は分散されているほか、観覧席などの付帯施設が不足している。

【運営面（利用料金、予約システム、開館期間及び時間、人材、DX 化など）】

- ・ 利用料金は、周辺自治体と比べ高めに設定されているものが多い。
一方、総合体育館のトレーニング室などは、利用料金を下げたことで利用者数の増加につながったものもある。
- ・ 開館期間は周辺自治体と大きく差異は無い。屋内スポーツの開館時間は、周辺自治体と比べ 1 時間長い（恵庭市は 22 時閉館、周辺自治体は 21 時閉館）ため、夕方以降の社会人利用が多い優位性がある。
- ・ 各競技スポーツ団体（連盟・協会など）の役員高齢化や次世代を担う人材が不足慢性化しており、各種大会開催や合宿誘致など将来的な展望が持てない状況となっている。
- ・ 日常的な運営についても、管理者の高齢化により現状と同様の運営が難しいスポーツ施設もある。

【利用者ニーズ（競技人口、利用者数、団体要望など）】

- ・ 競技人口は2015年と比べ微増している競技もあるが、相対的には屋外スポーツで3割強、屋内スポーツで2割弱の減少となっている。
- ・ 利用者数は2019年と比べ屋外スポーツ、屋内スポーツともに微増となっている。また、スポーツ施設を補完する学校開放施設（市内小中学校体育館）については、2割弱の増加となっている。
- ・ 少年野球は年間で20以上の大会を開催しており、近隣市町村を含めた大会を恵庭市内で実施しているため、慢性的な少年野球グラウンドの不足となっている。そのため、少年野球専用グラウンドの新設を要望している。

【財政面（維持管理コスト、更新費用など）】

- ・ 既存する屋内及び屋外スポーツ施設の維持管理（指定管理料、土地賃借料含む）に要する費用は、令和6年度で165,300千円となっている。
- ・ 市民プールにおいては、2019年で約20,000千円を要している。また、経過年数が40年を超過しているものが大半を占めているため、ろ過機や各種ポンプ設備をはじめとした設備機器の更新が予想される。（長寿命化計画に基づく予防保全的な管理に基づく中長期的な補修計画を策定する必要がある）
- ・ 昨今の少子高齢化における人口減少や人口構成の変化（年少人口及び生産人口の減、老年人口の増）に伴い、恵庭市の財政状況が厳しくなる。

【現状の配置バランス及び拠点となる運動公園の有無】

- ・ 現状の屋内・屋外スポーツ施設の配置を、恵庭地区、恵み野地区、島松地区、その他地区に区分した場合、別紙のとおりである。
- ・ 恵庭市周辺及び同人口程度の自治体では、各種スポーツ施設活動の拠点となる「運動公園」が立地しているが、恵庭市においては「運動公園」として位置づけられた公園は無く、恵庭公園（総合公園）が「運動公園」の機能を担った公園として整備されている。
- ・ スポーツ活動の拠点となる「運動公園」が無い場合、各スポーツ施設が分散されて整備されている傾向が見られ、そのことにより施設利用者の利便性低下や、スポーツ活動を通じた異業種間の交流が発生しにくい側面が見受けられる。また、日常的な維持管理の視点においても効率的な管理がしにくい課題が生じている。

市町村	人口	運動公園名	代替え公園
江別市	117,835	野幌総合運動公園（北海道） 飛鳥山公園	
北見市	108,779	東陵運動公園	
小樽市	102,952	小樽公園	
千歳市	97,132	青葉公園	
室蘭市	73,692	入江運動公園	
岩見沢市	73,171	東山公園 栗沢スポーツ公園	
恵庭市	70,246	—	恵庭公園
石狩市	56,941	青葉公園	
北広島市	56,262	緑葉公園	
登別市	42,958	岡志別の森運動公園	

【社会情勢の変化への対応】

- ・ 過年度に恵庭市で実施した「公共スポーツ施設に関するアンケート調査」では別紙のとおりである。

○ 基本方針（案）

- ① 市内在住者が愛好する競技施設に対する技術や能力の習得、また健康増進や余暇に寄与する空間として公共サービスの提供を図る。
- ② 今後も加速する少子高齢化や人口減少を踏まえ、スポーツ施設の統廃合や機能転換などを進め、適正な公共サービス量の確保に努める。また、中長期的な視点ではスポーツ施設の包括的な集約化（コンパクト化）を進めることで、利便性の向上や維持管理費の低減化を図り持続可能な取組みとする。
- ③ 官民連携による運営面での強化や質の向上を図るとともに、民間活力の導入を視野に入れた取組みの推進により、多様化する市民ニーズに対応する。
- ④ 施設の統廃合及び機能転換などについては、今後の市民ニーズをはじめ、官民連携や周辺自治体との連携の具体的可能性を見据えた上で段階的に進める。

○ スポーツ施設の今後のあり方（案）

- ・ 既存するスポーツ施設については、将来的には統廃合による施設の集約化を見据え、計画を進めることを大前提とする。また、集約化を図る候補地としては、現状で運動公園の機能を補完している恵庭公園を中心とし、隣接する市民スケート場や桜町多目的広場も含めたエリア（以下、運動施設集約候補地とする。）とする。
- ・ 管理従事者の高齢化や慢性的な担い手不足など、切迫する課題を抱えるスポーツ施設については、民間活力導入の可能性調査（サウンディング）などを実施し、施設継続の可否を検討する。
- ・ スポーツ施設の集約に伴い既存施設については、施設健全度調査（注1）を鑑みた上で通年型利用に対応した複合型施設への機能転換を検討する。なお、複合型施設への機能転換においては、民間活力導入の可能性調査（サウンディング）などの実施により決定する。

注1：施設健全度調査

国土交通省が進める「施設長寿命化計画」を策定する際に実施する現状の施設の健全度調査

○ 個別スポーツ施設の今後のあり方（案）

【定義】

- ・ 個別スポーツ施設の今後のあり方については、各スポーツ施設によって取り組むべき緊急度が違うため一概に言えないが、短期計画では概ね1～5年後、中長期計画では概ね10～15年後を目安として進めるものとする。

計画	目安
短期	1～5年後
中長期	10～15年後

◇ 体育館

<短期>

- ・ 3施設ともに使用見込み期間まで15～20年程度あるため、使用見込み期間までは現状の機能を踏襲する。
- ・ 中長期計画の具体的なビジョンを明確にするために、「施設長寿命化計画」（注2）の策定が必要。（同計画によりLCC縮減額（注3）に基づく評価が可能となる）

注2：施設長寿命化計画

既存施設の維持管理（修繕）や補修更新を通して、施設の機能を長期間にわたって発揮し続けることを目的とした計画。

注3：LCC縮減額

ライフサイクルコスト（LCC）を算出する際の指標。補修を実施しない場合の管理期間に要するコストと、補修を実施した場合のコストを比較することで、LCCの縮減効果を評価し、効率的な改修計画の根拠となる。

<中長期>

- ・ 総合体育館、島松体育館、福住屋内運動広場については、将来的に計画を目指す運動施設集約候補地に新たに複合中核施設として集約整備を検討する。
- ・ 福住屋内運動広場が現状有する機能（床面人工芝による通年型のフットサル及びテニスコート利用）は、周辺自治体には無く、他の屋内運動施設と比べ大きな優位性を持つ施設である。一方で、同施設は慢性的な屋根からの雨漏りが見られるほか、構造体となる壁材の劣化損傷が著しい課題もある。これらを踏まえ既存する屋内運動施設の内、1施設は福住屋内運動広場と同等の機能を持たせるものとし、他2施設は廃止若しくは複合型の通年利用施設として機能転換を検討する。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
体育館	総合体育館	・ 存続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動施設集約地への集約を検討（集約後は福住屋内運動広場の現状機能の存続を3施設の内、1施設で検討）
	島松体育館	・ 存続	
	福住屋内運動広場	・ 存続	

◇ 市民プール

<短期>

- ・ 過年度に恵庭市で実施している各種アンケート調査では、温水プールの整備を望む意見が常に上位となっている。
- ・ 島松水泳プールは、今年度改修工事が行われており、使用出来るコースは減少されるものの、歓談・コミュニティスペースも併設された、多機能な施設として更新される。
- ・ 既存する水泳プールの大半は整備後 40 年を経過しているが、施設長寿命化計画で示されている使用見込み期間までは数年の猶予があることも鑑みて、短期計画（使用見込み期間を 1 つの目安とした場合、3 年程度）では、既存の水泳プールを存続させるものとする。
- ・ 恵庭南高等学校のプールについては、同校体育科の授業などで利用があるため存続とするが、維持管理費の低減化の観点から一般開放は廃止とする。

施設名称	構造種別	耐震基準	設置年	経過年	処分制限期間	使用見込み期間
島松水泳プール	鉄骨造	○	2025	0	38	48
恵庭水泳プール	鉄骨造	○	1968	57	38	48
和光水泳プール	鉄骨造	○	1978	47	38	48
若草水泳プール	鉄骨造	○	1980	45	38	48
恵み野水泳プール	鉄骨造	○	1993	32	38	48
恵庭南高等学校プール（一般開放）	RC造	不明	2008	17	50	60

施設の耐用年数を計る際の 1 つの指標 ↑

<中長期>

- ・ 将来的には少子高齢化による水泳プール利用者の減少や、水泳プールを運営するために必要な、ろ過機をはじめ、ポンプ器機等の交換が必要であり、将来的にはこれらの器機等の修繕や補修には高額な費用を要することが予想される。
- ・ 社会動向や維持管理費の軽減化を図るため、恵庭水泳プール、和光水泳プール、若草水泳プールについては、民間活力を導入した温水プールへの機能転換を視野に入れた統合を図るものとする。
- ・ 恵み野水泳プールについては使用見込み期間などを勘案しつつ、将来的には廃止とする。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
市民プール	島松水泳プール	・ 存続	・ 存続
	恵庭水泳プール	・ 存続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1施設に集約（民間活力を導入した温水プールへの機能転換を検討）
	和光水泳プール	・ 存続	
	若草水泳プール	・ 存続	
	恵み野水泳プール	・ 存続	・ 廃止
	恵庭南高等学校プール（一般開放）	・ 一般開放は廃止（施設は存続）	・ 一般開放は廃止（施設は存続）

◇ 野球場

<短期>

- ・ 少年野球団体へのヒアリングでは、恵庭市内では5つの少年野球チームが活動している。日常の練習では小学校グラウンド2箇所（恵み野小学校、若草小学校）及び公園3箇所（かえで公園、和光公園、ことぶき公園）を利用している。大会は年間で20以上開催されており、恵庭市近郊（千歳市、北広島市、岩見沢市など）の少年野球チームも参加している。そのため、慢性的なグラウンド不足となっており、少年野球専用球場の整備を望む声が多い。
- ・ 上記の背景を踏まえ、島松屋外運動場及びかしわ公園野球場については、存続を基本としつつ少年野球専用球場としての機能転換を検討する。
- ・ 恵庭公園及び恵み野中央公園の野球場については、現状と同様に社会人の硬式若しくは軟式に対応した野球場として維持する。
- ・ 島松屋外運動場については、現状の水捌けが悪いため内野グラウンドの改修についても検討する。

<中長期>

- ・ 恵庭公園及び恵み野中央公園の野球場については、短期計画を継続するものとする。
- ・ 少年野球専用球場の整備については、将来的に計画を目指す運動施設集約予定地に集約することも視野に入れ、円滑な大会運営が可能なものとする。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
野球場	恵庭公園野球場	・ 存続	・ 存続
	島松屋外運動場	・ 存続	・ 運動施設集約候補地への統合を検討
	恵み野中央公園野球場	・ 存続	・ 存続
	かしわ公園野球場	・ 存続	・ 運動施設集約候補地への統合を検討

◇ 球技場

<短期>

- ・ 恵庭公園球技場、恵庭公園陸上グラウンドともに存続する。

<中長期>

- ・ 恵庭公園球技場の現状のサーフェイスはクレイ舗装であるが、より安全な利用環境や多様な利用促進を目的として、芝の改修を視野に入れる。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
球技場	恵庭公園球技場	・ 存続	・ 存続（芝を視野に入れる）
	恵庭公園陸上グラウンド	・ 存続	・ 存続

◇ 陸上グラウンド

<短期>

- ・ 各種大会に向けた陸上競技に取り組む市民の練習の場として、また、市内で運営する民間スポーツクラブ等のトレーニングフィールドの場として、全天候型によるトラックを改修する。(直線路4レーン、周回路2レーン及び走り幅跳び)

<中長期>

- ・ 中長期的にも改修した全天候型トラックを維持するものとし、陸上競技における大会開催などは、千歳市など周辺自治体で開催するものとする。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
陸上グラウンド	恵庭公園陸上グラウンドトラック	・ 存続 (全天候型レーンに改修)	・ 存続

◇ 庭球場

<短期>

- ・ 既存の庭球場は全て存続とするが、ふるさと公園庭球場、めぐみの森庭球場、あやめ緑地公園庭球場については、中長期的計画 (機能の集約化) に先立ち無料施設として開放する。

<中長期>

- ・ 将来的に計画を目指す運動施設集約予定地の具体的改修整備に併せ、恵庭公園庭球場に硬式コートの集約化を検討する。また、恵庭公園庭球場の集約化に伴いふるさと公園庭球場、めぐみの森庭球場、あやめ緑地公園庭球場、漁川河川緑地テニスコートは廃止とする。また、中島公園庭球場についても、利用状況を踏まえた上で同様に集約・廃止を検討する。
- ・ 恵み野中央公園の庭球場については、中長期的にも存続とする。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
庭球場	恵庭公園庭球場	・ 存続 (軟式有料)	・ 拡張 (軟式有料・硬式有料)
	恵み野中央公園庭球場	・ 存続 (有料)	・ 存続 (有料)
	中島公園庭球場	・ 存続 (有料)	・ 利用状況を見た上で廃止も検討
	ふるさと公園庭球場	・ 存続 (有料⇒無料)	・ 廃止
	めぐみの森庭球場	・ 存続 (有料⇒無料)	
	あやめ緑地公園庭球場	・ 存続 (有料⇒無料)	
	漁川河川緑地テニスコート	・ 存続 (無料)	

スキー場

<短期>

- ・ 2025年に恵庭市で実施したアンケート調査結果では、どの設問についても肯定的な回答割合が高いことから、今後も継続的な利用が望まれる施設と言える。
- ・ 2018年に同スキー場のリフトの架け替えを実施しており、施設健全度の観点からは健全であるものの、圧雪車や山の家への老朽化は著しく、これらの更新や改修など多額な維持管理費用を要することが予想される。
- ・ 運営管理については、従事者の高齢化も進んでおり安定的な市民サービスの提供が難しくなっている。
- ・ 本スキー場は、立地特性上ほかのスキー場と比べ積雪期間が短く、特にとりわけ2019年及び2024年は2月に入るまでリフト運行が出来なかった。
- ・ 上記のとおり、スキー場については切迫する課題を多面的に抱えており、これらによって担い手の確保も非常に難しくなっている。
- ・ 短期計画においては、存続を行いながらも民間活力導入の可能性調査（サウンディング）などを早急を実施するとともに、従来のウィンタースポーツのみならず周辺施設環境と連携した魅力あるアクティビティの可能性についても検討を行う。

<中長期>

- ・ 民間活力を含め、新たな担い手が確保できる場合には存続とするが、確保できない場合は廃止とする。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
スキー場	市民スキー場	・ 存続（民間活力の導入検討）	・ 民間活力の導入化 ⇒ 存続 ・ 民間活力の導入不可 ⇒ 廃止

◇ スケート場

<短期>

- ・ 市内小学校での冬期授業をはじめ、初心者スケート教室（NPO 法人恵庭市スポーツ協会の自主事業）など、毎年一定数の市民利用があることから市民スケート場は今後も存続とするが、恵庭市の自治体規模において、同レベルのスケート場を2箇所維持するのは維持管理費などの面からも過大と考えるため、島松スケート場は廃止とする。

<中長期>

- ・ スケート場の主な利用としては、市内小学校の冬期授業であるため、今後の学校授業のあり方と連動した存廃を検討していくものとする。また、存続とした場合においても、他都市の事例を参考とした、通年型の利用を検討することで効率的な市民サービスを模索するものとする。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
スケート場	市民スケート場	・ 存続 (学校授業のあり方に連動して存続を検討)	・ 存続 (短期計画の結果、廃止も含めて検討)
	島松スケート場	・ 廃止	

◇ パークゴルフ場

<短期>

- ・ 1983年に幕別町で発祥したパークゴルフは、90年代後半から2000年初めに競技人口がピークを迎えていたが、競技者の高齢化や高齢者の就業率の増加などを背景に減少の一途をたどっている。（日本パークゴルフ協会の道内会員数は、2008年で約47,000人だったが、2024年では約12,000人と約7割減となっている）
- ・ 今後も競技人口の減少は避けられない状況にある中で、利用者の極端に少ないパークゴルフ場や、維持管理費を極端に要するパークゴルフ場については廃止するものとする。また、現在千歳市と相互利用連携に向けた協議を進めていることから、両市の整備状況を加味しながらストックマネジメントを進めていく。
- ・ 上記に基づき、現状の利用が極端に少ない北栄会館パークゴルフ場については廃止とする。
- ・ 島松パークゴルフ場は存続とするが、管理形態を現在の指定管理者から地域愛好団体に変更することを視野に入れる。
- ・ 盤尻パークゴルフ場は、“花夢里パークゴルフ場”として民間施設のパークゴルフ場として運営されてきたが、2023年に営業を終了している。同様に民間事業者によるパークゴルフ場の閉鎖が進んでいる。（恵庭市：るるまっぷパークゴルフ場 千歳市：コトロパークゴルフ場 江別市：えべつ角山パークゴルフ場）
- ・ 盤尻パークゴルフ場は、花夢里同パークゴルフ場の土地及び建物を借り受ける形で運営を行っているが、利用者の減少が進む中で借地料を支払いながら維持していくのは今後大きな財政負担となる。従って、盤尻パークゴルフ場は廃止とする。

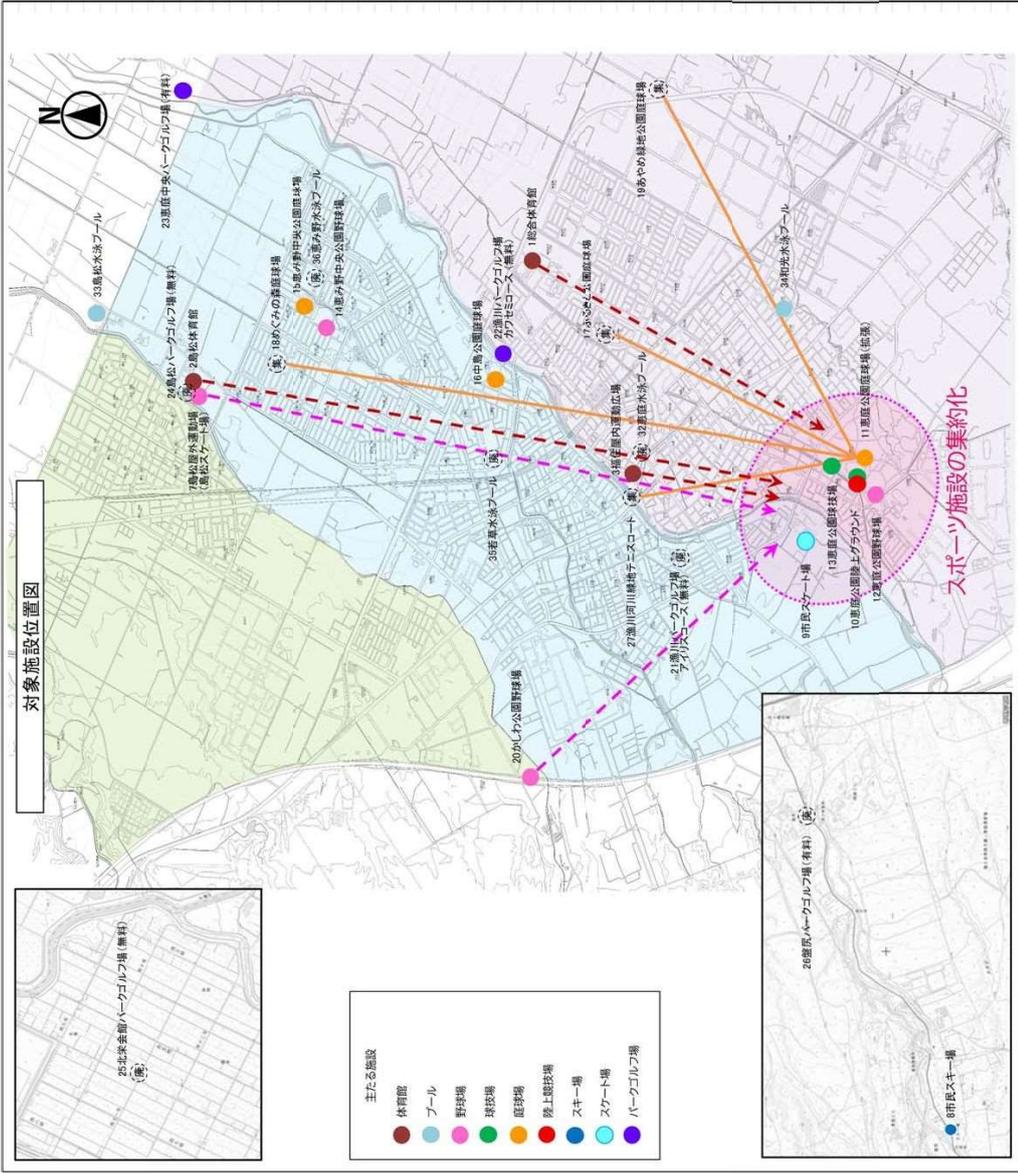
<中長期>

- ・ 島松パークゴルフ場については、利用状況を把握したうえで廃止とする。
- ・ 漁川パークゴルフ場アイリスコース及びカワセミコースについては、両施設の利用状況を把握したうえで、1施設のみ存続とする。また、指定管理者による管理とするが、無料コースとする。
- ・ 恵庭中央パークゴルフ場は現状と同等の管理体制（指定管理者・有料）のもと存続とする。

細分	施設名称	短期計画	中長期計画
パークゴルフ場	漁川パークゴルフ場 アイリスコース	・ 存続-現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・無料)	・ 存続(1施設のみ存続) 現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・無料)
	漁川パークゴルフ場 カワセミコース	・ 存続-現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・有料)	
	恵庭中央 パークゴルフ場	・ 存続-現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・有料)	・ 存続-現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・有料)
	島松パークゴルフ場	・ 存続-管理形態の変更 (地域愛好団体への管理委託を検討)	・ 廃止
	北栄会館 パークゴルフ場	・ 廃止	
	盤尻パークゴルフ場	・ 廃止	

種別	施設名称	短期計画	中長期計画
体育館	総合体育館	・存続	・運動施設集約地への集約を検討 (集約後は居住区内増加広場の現状機能の存続を3施設の内、1施設と検討)
	島松体育館	・存続	
	福住屋内運動広場	・存続	
	島松水泳プール	・存続	・存続
市民プール	恵徳水泳プール	・存続	・施設に集約 (期間活力を導入した温水プールへの機能転換を検討)
	和光水泳プール	・存続	
	若草水泳プール	・存続	
	恵み野水泳プール	・存続	・廃止
野球場	恵徳南高等学校プール (一部開放)	・一施設開放は廃止(施設は存続)	・一施設開放は廃止(施設は存続)
	恵徳公園野球場	・存続	・存続
	島松屋外運動場	・存続	・運動施設集約候補地への統合を検討
	恵み野中央公園野球場	・存続	・存続
球技場	かしわ公園野球場	・存続	・運動施設集約候補地への統合を検討
	恵徳公園球技場	・存続	・存続(芝を掘野に入れる)
	恵徳公園陸上グラウンド	・存続	・存続
	恵徳公園陸上グラウンドトラック	・存続(全天候型レーンに改修)	・存続
陸上グラウンド	恵徳公園陸球場	・存続(軟式有料)	・拡張(軟式有料・硬式有料)
	恵み野中央公園陸球場	・存続(有料)	・存続(有料)
	中島公園陸球場	・存続(有料)	・利用状況を基として廃止も検討
	ふるさと公園陸球場	・存続(有料・無料)	
庭球場	めぐみの森庭球場	・存続(有料・無料)	
	あやめ草池公園庭球場	・存続(有料・無料)	
	漁川河川緑地テニスコート	・存続(有料・無料)	
	市民テニスコート	・存続(無料)	
スキー場	市民スキー場	・存続(期間活力の導入検討)	・期間活力の導入不可 →存続 ・期間活力の導入不可 →廃止
	市民スケート場	・存続(学校団体のあり方に運動して存続を検討)	・存続(短期計画の結果、廃止も含めて検討)
スケート場	島松スケート場	・廃止	
	漁川パークゴルフ場 アリスコース	・存続(現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・無料))	・存続(1施設のみ存続、現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・無料))
	漁川パークゴルフ場 カフエミコース	・存続(現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・有料))	
	恵徳中央パークゴルフ場	・存続(現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・有料))	・存続(現状と同等の管理形態 (指定管理者による管理・有料))
パークゴルフ場	島松パークゴルフ場	・存続(管理形態の変更 (地域愛護団体への管理委託を検討))	・廃止
	北米参館パークゴルフ場	・廃止	
	豊原パークゴルフ場	・廃止	

スポーツ施設の集約化
運動施設集約候補地
(恵徳公園・市民スケート場・探野多目的広場)
or 新採運動公園



対象施設位置図

スポーツ施設の集約化